

日本不動産研究所がまとめた10月現在のオフィス市況調査によると、空室率DI（「改善」から「悪化」を引いた回答割合の指数）は静岡市で20・0と前回4月から持ち直しが見られた一方、浜松市は0・0と大幅に低下した。半年後の見通しも両市とも振るわず、新型コロナウイルス禍や原材料高騰の継続による企業の業績悪化など、地域の先行き不透明感がにじむ結果になった。

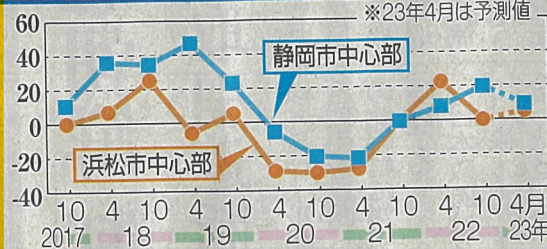
10月空室率DI

両市中心部で延べ床面積3千平方メートル以上のオフィスビルを所有する企業や賃貸業者から聞き取った。

静岡市の空室率DIは前回の8・7から11・3に改善。オフィス稼働は安定傾向で、賃料引き下げの動きは目立たない。低層階で飲食店退去後に空きが埋まりにくいものの、物販やサービス業の入居事例が出てい

オフィス市況に不透明感

オフィス空室率DIの推移



静岡持ち直し 浜松大幅低下

浜松市は前回から22・7ポイント下落し、前々回の2021年10月の水準に戻った。駅周辺の好立地は引き合いが強いが、少し離れた物件は敬遠されるなど全般的に弱含みという。

半年後の見通しは静岡市が若干下落し9・5、浜松市は微増の5・0だった。鈴木隆史静岡支所長は「上半期は輸送型製造業の好業績を背景に、オフィス入居企業の事業活動は一定程度堅調で、市況にプラスに働いたのでは」とみる。

一方、両市のオフィス賃料DIが20年4月以来、マイナスで推移する現状にも触れ、「物価高騰が続いても、家賃は上がらないだろう」と指摘した。

成瀬智也浜松支所長は「物件の選別化が進んでいるとの見方があり、ビル所有者は警戒感を緩めていない」と話した。

（経済部・高松勝）

高度外国人の採用 経営者ら意見交換 浜松でセミナー

浜松経済同友会とジェトロ浜松は1日、高度外国人材採用・定着啓発セミナー「新グローバル時代の人材獲得戦略」を浜松市中区で



外国人高度人材や留学生採用の効果や課題などをテーマに意見交換したセミナー

11日、浜松市中区

外壁材の一貫体制構築

浜松「R-one」来春稼働へ
加工からリサイクル

日本公庫と静岡銀 協調融資

建設業「R-one」（アールワン）（浜松市西区）は来春をめどに、サイディンガーシステム外壁材の加工からリサイクル体制を構築する。本各家動する。従来

は施工主体だった事業を拡大する。建築現場での効率化や環境改善を図り、一貫体制を生かした新規受注を目指す。

県東部まで営業エリアを広げ、脱炭素や環境対策に注目する住宅メーカーなどに販促する。山本竜佑社長は「工場での作業を広げて、現場での負担軽減を図り、人材確保にもつなげたい」と話した。

名古屋
が発表
易概況
輸出は
増の2
連続で
・4%

開いた。高度外国人組む地域ジェトロ課題について。先進技術外国人材クマネーイングス川雅洋社にあるとが大事な推進の受け入れのべき」

外国人材に着を支援「新ズ」のた。三恵佳管理部長は、を経て、を採田「人工研高い専高加速を語った人留学プを受業所（会）は、会場を、いけな言及に言及

ジェ所長が務めた。清